

羅 針 盤			方 策	点検・評価			達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	達成度		
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 生徒のニーズに合った教育課程を実践していますか。	①コース別の特色ある学習活動に満足している生徒が80%以上である。	各コースの特徴を生かした教育課程の編成に努める。また専門教科・科目の授業内容を検討工夫して魅力あるものにする。	A	A	A	アンケートから、水産や福祉で生徒の授業満足度が95%を越えており、専門教科の面白さを伝えることができたためであると考えられる。また各コースでの3年生では授業への満足度が高く、魅力ある授業が展開されていると読み取れる。	生徒一人一人の可能性を引き出す学校づくりに取り組んでいる。体験的な学習を重視し、実社会とつながる学びを実践している。
	2 中高一貫教育に積極的に取り組んでいますか。	②交流授業を行った教科が全体の80%以上である。	中高双方向での交流授業や出前授業を各教科で計画し、積極的に実施する。	A	B	A	各教科とも交流授業や出前授業を計画通り実施できた。中学校からの要望と本校が実施できる内容をよく検討し、計画をしていくことで中高一貫教育としての効果を上げたいと思う。	
	3 生徒の実態に合った学校運営を実践していますか。	③自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は80%以上である。	生徒の実態に即しての授業展開や学校行事等の実施を、工夫しながら行う。	7月と12月に授業アンケートを実施し、その結果を教科で共有し、改善を図る。	B	B	B	
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	4 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	①授業に対する生徒の評価アンケートを年間2回実施し、授業改善に生かす。	生徒個々の特性と目標を把握した上で授業や補習を行うと共に、協働学習を取り入れた学びの機会を設け、基礎的基本的な学力の確実な定着と向上を図る。	A	A	A	授業アンケートは1学期末と2学期末に行われ、その結果については各教員に戻されている。また、全体にかかわる部分については職員会議でも出されており、学校全体として結果を共有しており、そこからの改善を図っている。	少人数ならではの良さがある。授業では、自分なりの考えを深めながら学習を進めている。
	5 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	②授業で生徒同士が関わり合い積極的に学習に取り組んでいると評価している生徒が80%以上である。	③基本的な学力が付いてきたと実感する生徒が80%以上である。	A	A	A	「生徒が学習に取り組んでいる」と評価した割合は高く、生徒と教員の対話を利用した授業展開や生徒同士の協働的な学習を行った結果であると考えられる。今後も生徒の興味関心を引き出す授業展開を心がけていきたい。	
	6 組織的・継続的な指導を行っていますか。	①生徒会活動(学校行事、委員会、部活動)が充実していると思う生徒が、80%以上である。	②何かあったとき、友人や先輩、家族、先生等、誰か相談できる人がいるという生徒が80%以上である。	③いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	A	A	A	
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	④挨拶をしたり、本校で定めた服装・頭髪規定を守ったりしている生徒が80%以上である。	係を中心に全職員が連携し適切な指導を行う。生徒会本部役員を中心に主体的に活動させる。	A	A	A	アンケート結果では、93.3%(昨年度81.6%)と増加した。日常的な生徒への声掛けなどの相談しやすい環境づくりを引き続き行うとともに、友達の変化に気付き、信頼できる大人につなぐ取り組みにも力を入れていきたい。	学校行事など生徒が主体的に関わり、前向きな姿勢で過ごしている。生徒一人一人に目が行き届き、先生との距離感も適切で、より学習環境が成り立っている。
	8 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めていますか。	⑤いじめ防止のための活動及び、いじめ早期発見のための取組が行われていると感じている生徒が80%以上である。	担任による面談の他、必要に応じて教育相談係と連携し養護教諭やSC等との面談を設ける。また、アンケート調査を行う。	A	A	A	いじめの解消の目安である3ヶ月に満たないため、経過観察を続けている案件が数件あるが、いじめの認知件数については昨年度の6件から14件に大きく増加した。生徒同士が特性を理解し合えるような環境作りが必要と感じる。次年度についても、未然防止や早期発見・早期対応を心掛けたい。	
	9 計画的な指導を行っていますか。	①3年間を見通した進路計画に基づき、計画的に進路ガイダンスを各学年ごとに実施している。	②企業・学校見学やインターンシップ、実習等を有意義だと思う生徒が80%以上である。	全教員が授業開始、終了時や休み時間での挨拶指導を行う。身だしなみ指導を定期的に行うとともに、平時的指導を粘り強く行う。	A	A	A	
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	10 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	③自らの適性、興味関心、能力等を理解している生徒が80%以上である。	いじめ撲滅運動を始め、いじめ防止フォーラムなどの活動報告を、生徒会を主体として実施し、いじめ防止を呼びかける。	A	A	A	アンケート結果では、96.7%(昨年度91.9%)と大きく増加した。生徒への声掛けに加えて、職員に対してもアプローチしたことが結果として現れたのだと考えられる。次年度についても同様に取り組んでいきたい。	情報の積極的な収集と先生方との面談を通し、本人また保護者が前向きな進路選択を薦めている。
	11 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	④進路希望を実現する生徒が80%以上である。	年度当初に進路関係の行事を説明し、3年間を見通して段階的に進路目標を達成できるよう誘導する。	A	A	A	各学年ごとに年2回以上は(校外実施を含む)実施できている。課題として、在籍人数が少ないため、なかなか生徒が希望する分野の学校に来てもらえないことが挙げられる。その対策として、今年度は1・2学年合同で実施した。来年度以降も1・2学年合同で実施し、生徒の希望に合った学校に少しでも来てもらえるよう調整していきたい。	
	12 ICTを活用した指導を行っていますか。	①ICTを活用した学習活動に満足している生徒が80%以上である。	②企業・学校見学やインターンシップ、実習等を有意義だと思う生徒が80%以上である。	体験学習からキャリア教育の意義を理解させ、企業や大学・専門学校の協力を得て充実した学習内容とする。	A	A	A	
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	13 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	③ICT(情報端末)を活用した通知に満足している生徒・保護者が80%以上である。	適性検査や基礎学力テスト等の実施及び事後指導を通じて、生徒自ら適性、興味関心、能力等を理解するよう促す。	B	A	A	各学年において各種適性検査や基礎学力テストなどを実施している。現状では、実施してそのままになってしまうことも多いので、学年と連携し、結果のフィードバックをして生徒がより自身の適性等について理解できるようにしたい。	情報発信を積極的に行っており、開かれた学校づくりを進めている。SNSの活用も浸し見やすい情報発信に努めている。
	14 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	④体系的な進路指導を前提として、生徒の適性と将来を見据えた指導を組織的に展開する。	PTA総会や学年保護者会開催日などに公開授業を行う。また、職員研修を行い、ホームページの更新を全教員が行えるようにする。	A	A	A	公開授業は予定通りに実施されている。また、ホームページの更新も担当教員だけでなく、ほとんどの職員ができるようになったため、更新頻度が上昇している。	
	15 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑤進路希望を実現する生徒が80%以上である。	学年通信を家庭向けに年10回以上発行する。また、学校ホームページの記事は、生徒の活動が伝わるような内容にする。	各教科・科目の授業内容を検討した上で、効果的にICTを活用し、基本的な学力の定着と向上を図る。	A	A	A	
VI 教育デジタル化に努めていますか。	16 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	①ICTを活用した学習活動に満足している生徒が80%以上である。	各教科・科目の授業内容を検討した上で、効果的にICTを活用し、基本的な学力の定着と向上を図る。	A	A	A	各教科でICTを活用した授業展開が通常で見られるようになった。ICT機器を活用することが目的ではなく、より効果的な指導ができるようにするためICT機器を利用方法を考え、その結果をフィードバックすることでより効果的な指導が行えるようにしたい。	学習の質の向上に努めている。学習環境の整備には引き続き取り組んでほしい。
	17 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	②生徒は学習用端末を1日2回以上利用している。	学習活動に学習用端末を積極的に利用する。	B	C	B	学習活動で調べることや放課後の学習などの学習活動で情報端末を利用しているのが見られるようになったが、それ以外にどのような利用方法があるのかを教員側が理解していく必要がある。	
	18 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	③ICT(情報端末)を活用した通知に満足している生徒・保護者が80%以上である。	学校からの通知等をICT(情報端末)を活用し配信する。	ICTを活用し、ペーパーレスの職員会議を実施する。	A	A	A	
19 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	④ペーパーレスの職員会議を年3回以上実施している。			A	A	A	通常の職員会議資料は全てPDFにして情報端末を用いて実施した。来年度もこのような形式で行いたい。	